

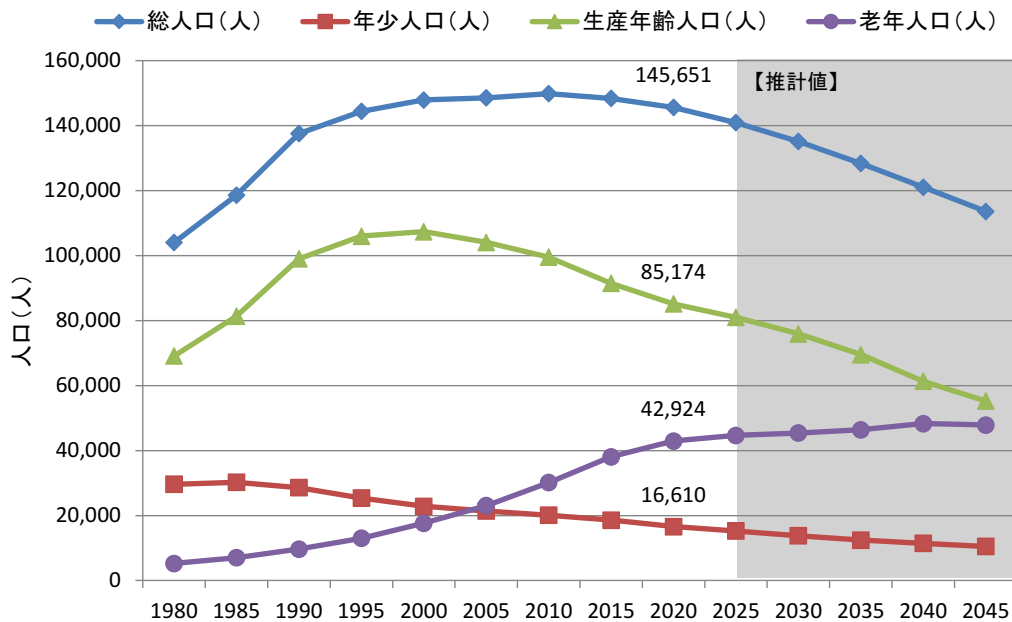
地域公共交通における現状と課題



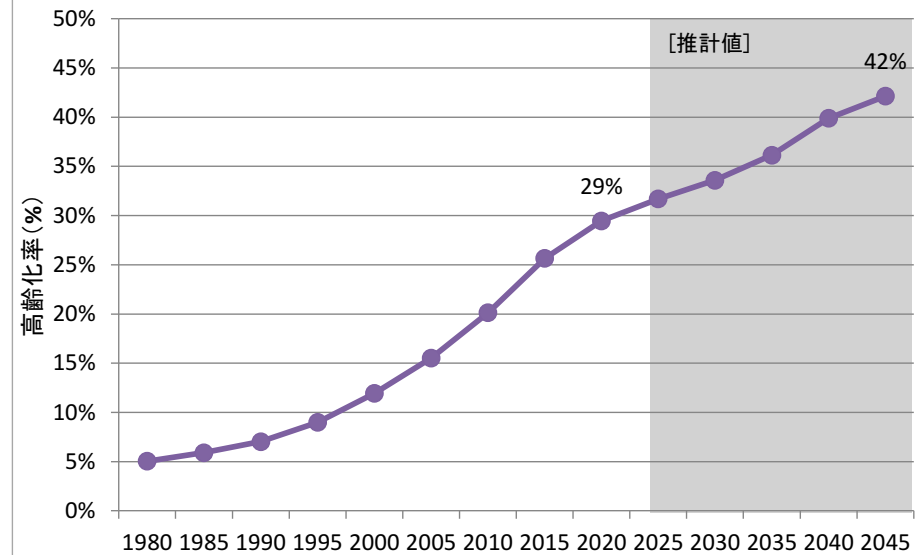
現状（１）人口と高齢化率の推移

入間市の人口は、減少傾向にある一方、高齢化率は上昇傾向にある。

入間市人口推移及び推計



入間市 高齢化率推移



出典：実数値：総務省統計局「2020年国勢調査」

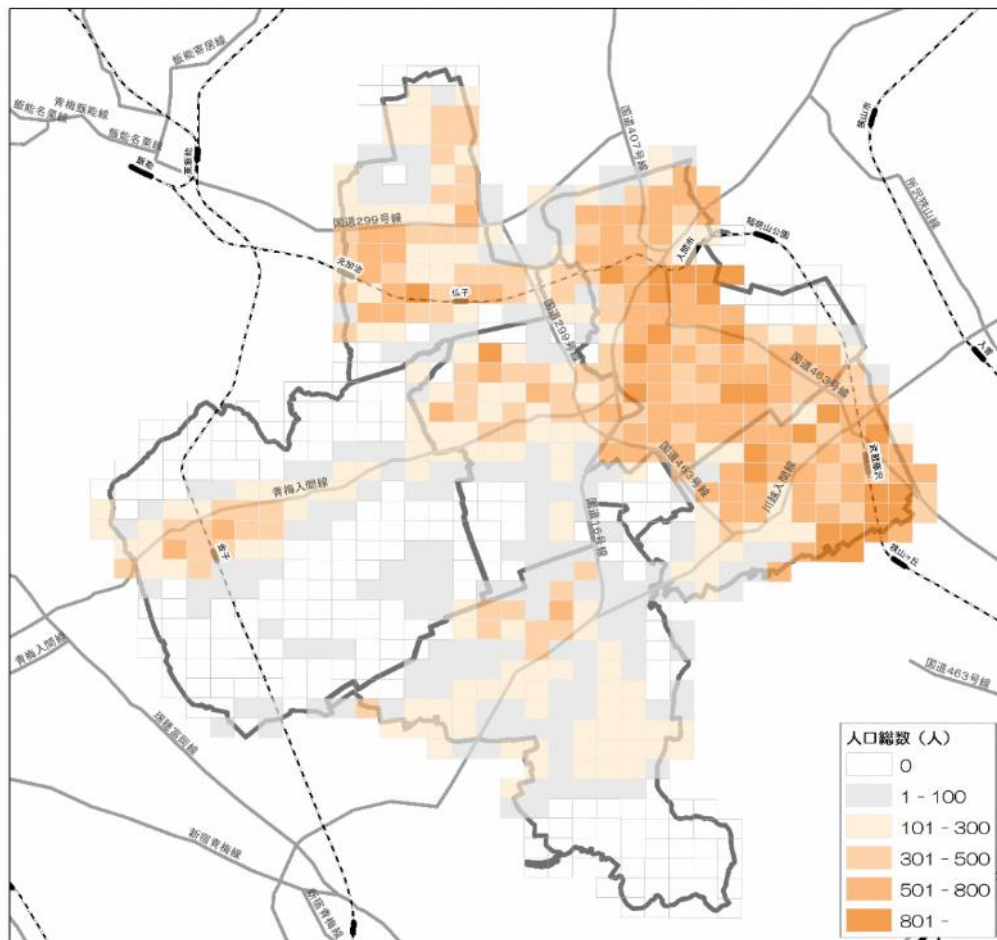
推計値：入間市人口ビジョン2015



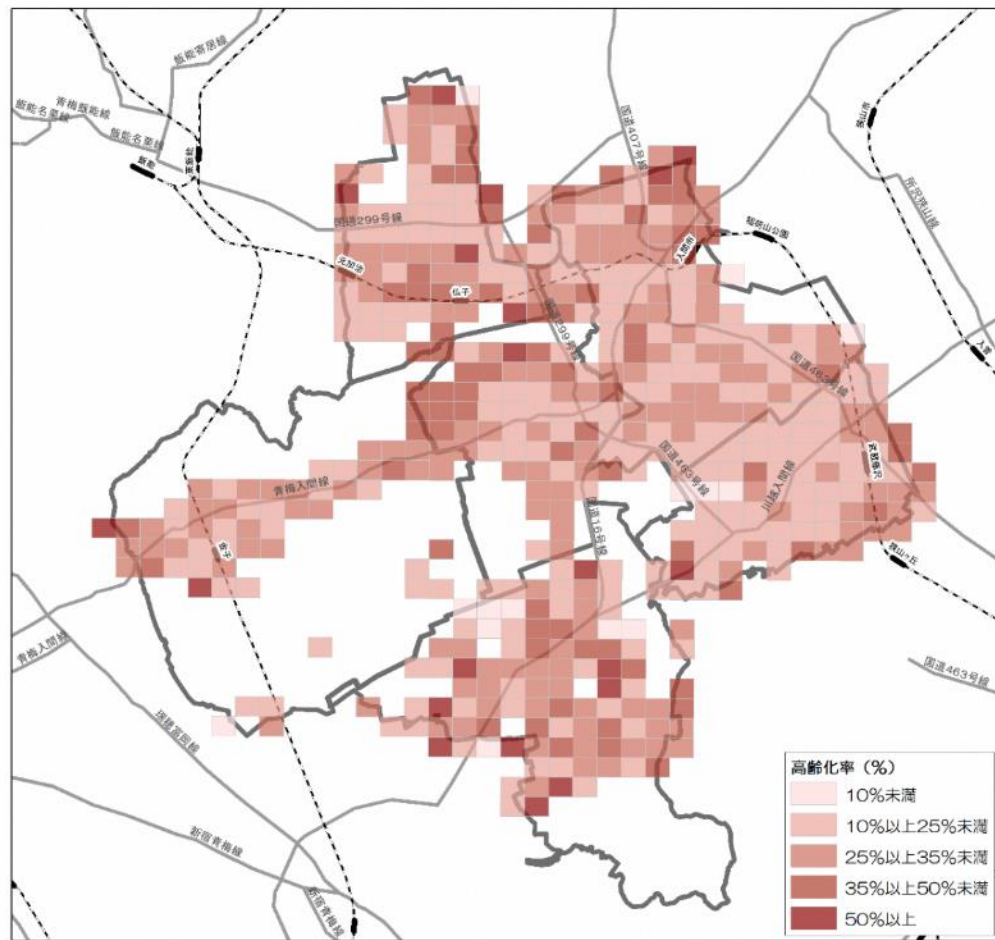
現状（２）人口分布

入間市の人口分布は、北東部を中心に多くなっており、鉄道沿線に人口が集中していることが分かる。一方で、高齢化率は南側にも高い地域が分布している。

人口分布



高齢化率分布



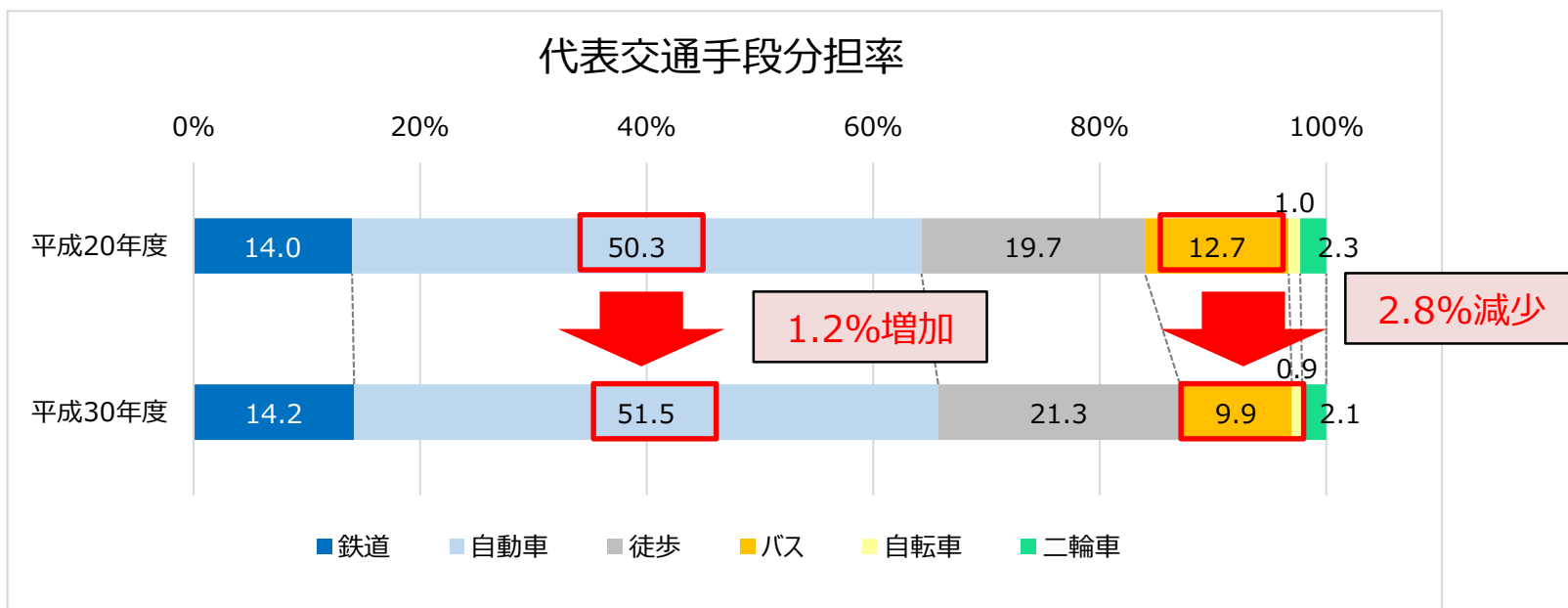
出典：総務省統計局「2020年国勢調査」



現状（3）主な交通手段

主な交通手段は、自動車が50%を超えており、平成20年度と平成30年度を比較すると1.2%増えている。

バスについては2.8%減少している。

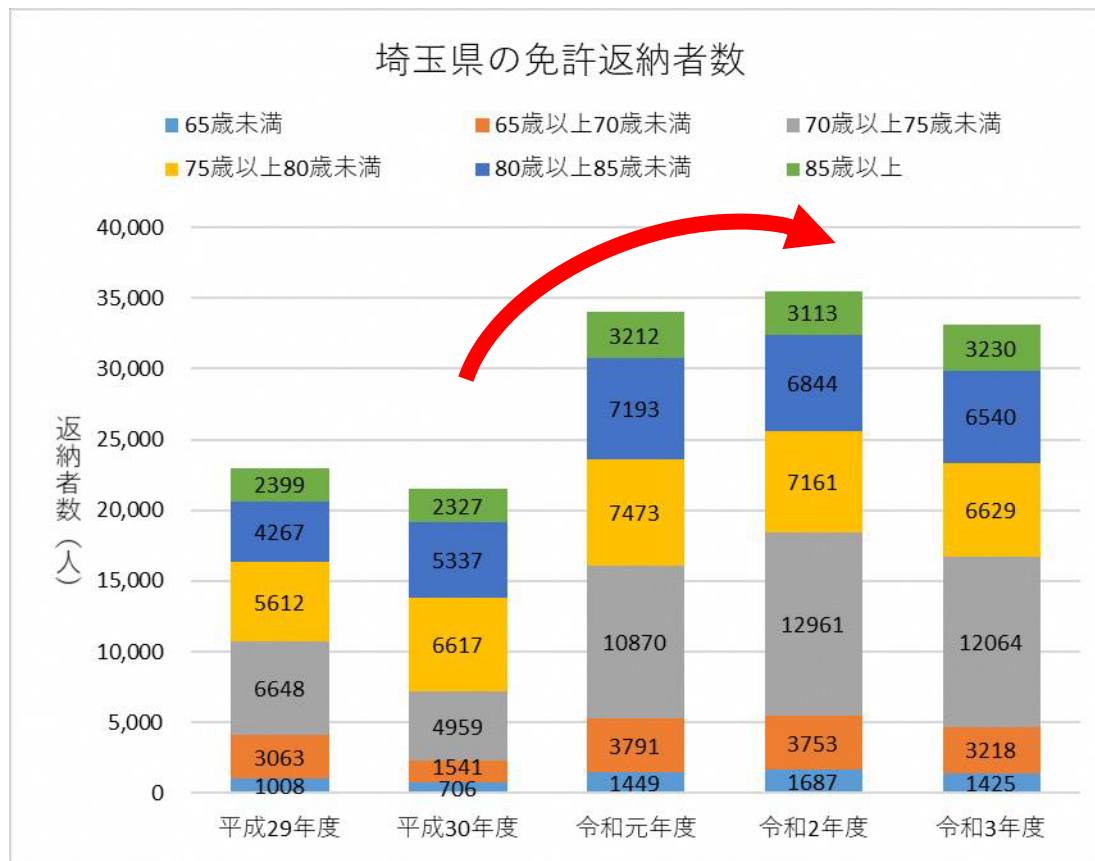


出典：国土交通省「平成30年度パーソントリップ調査」
「平成20年度パーソントリップ調査」



現状（４）免許返納者数

埼玉県免許返納者数は、令和元年度以降、増加傾向にある。



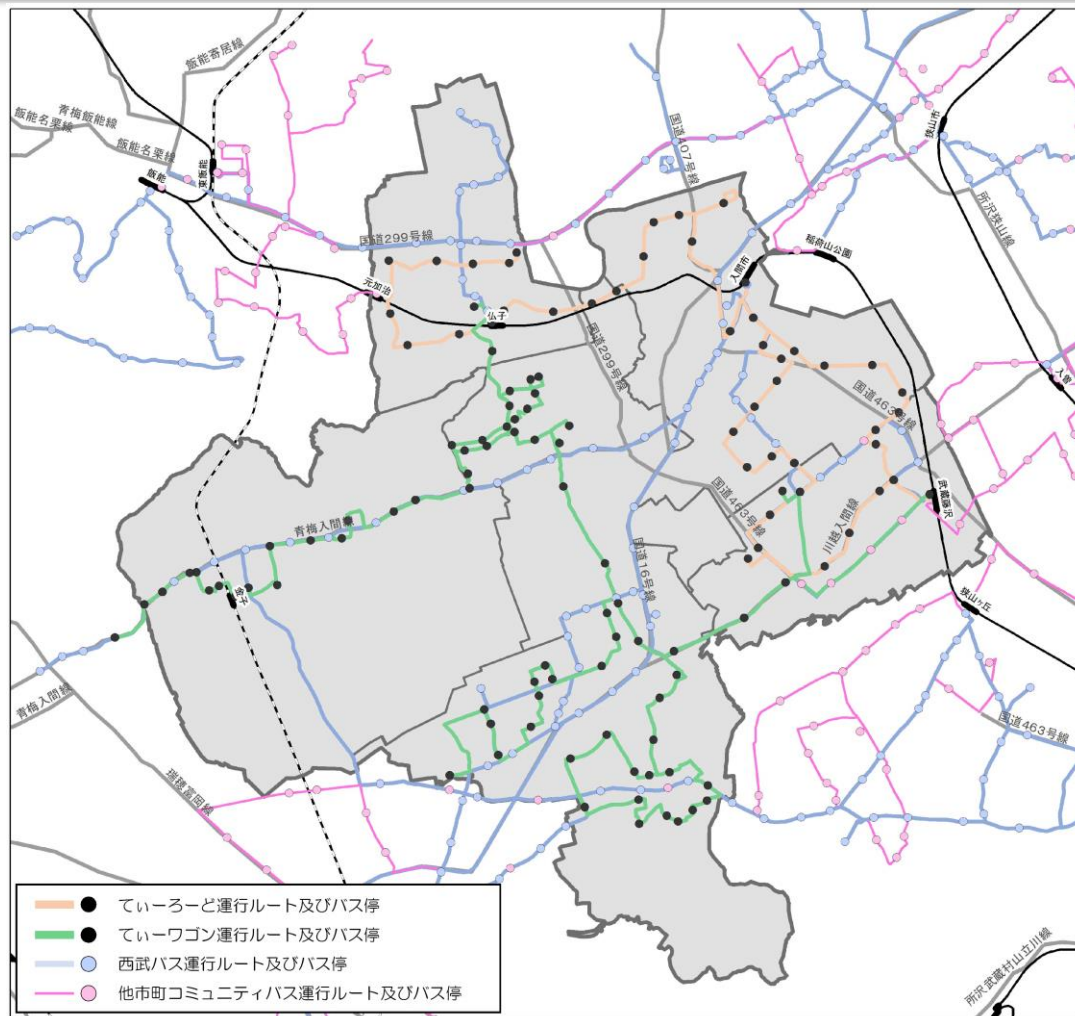
令和元年度以降
増加傾向

出典：警察庁「運転免許統計（平成29年度～令和3年度）」



現状（5）公共交通網

西武鉄道（池袋線）、西武バス、ていーろーど、ていーワゴン、タクシーが公共交通網を形成している。

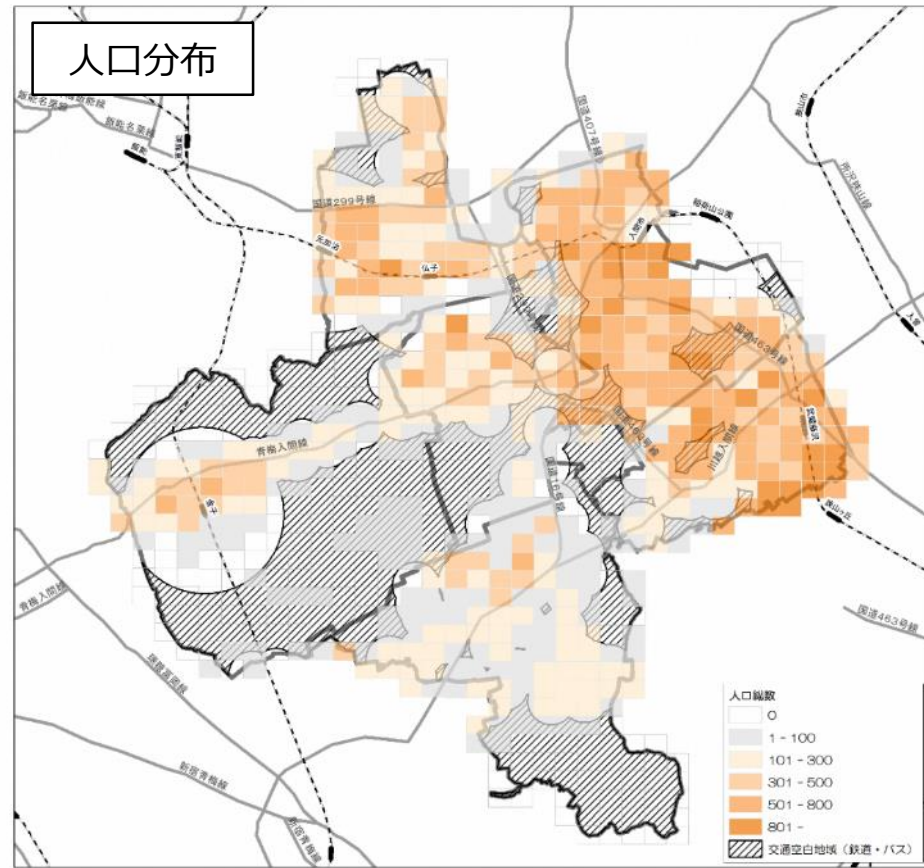
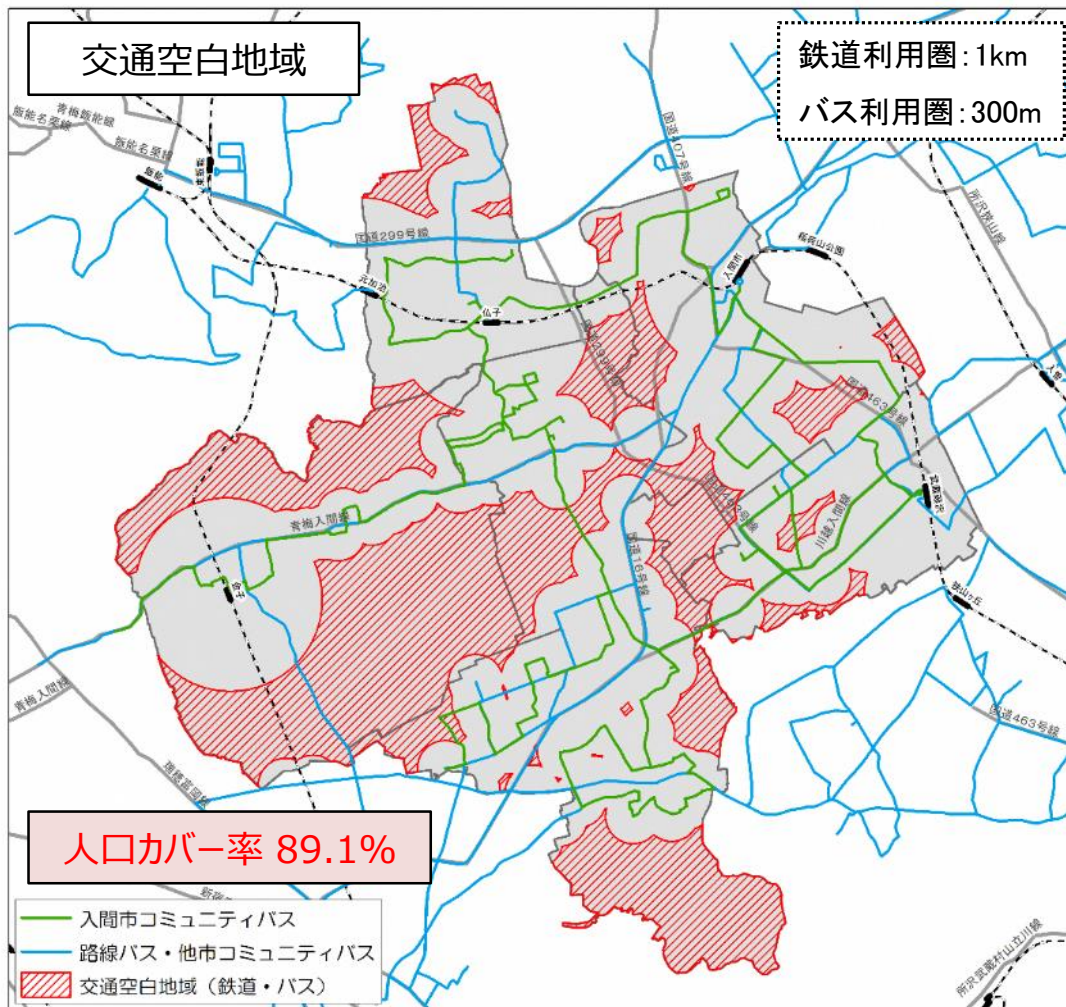


公共交通	内容
鉄道	・JR八高線(金子駅) ・西武池袋線 (武蔵藤沢駅、入間市駅、仏子駅、元加治駅)
路線バス	西武バス(株)
コミュニティバス	「ていーろーど」 「ていーワゴン」
タクシー	豊岡丸大タクシー(株) 松葉交通(株) 西武ハイヤー(株)



現状（6）交通空白地域

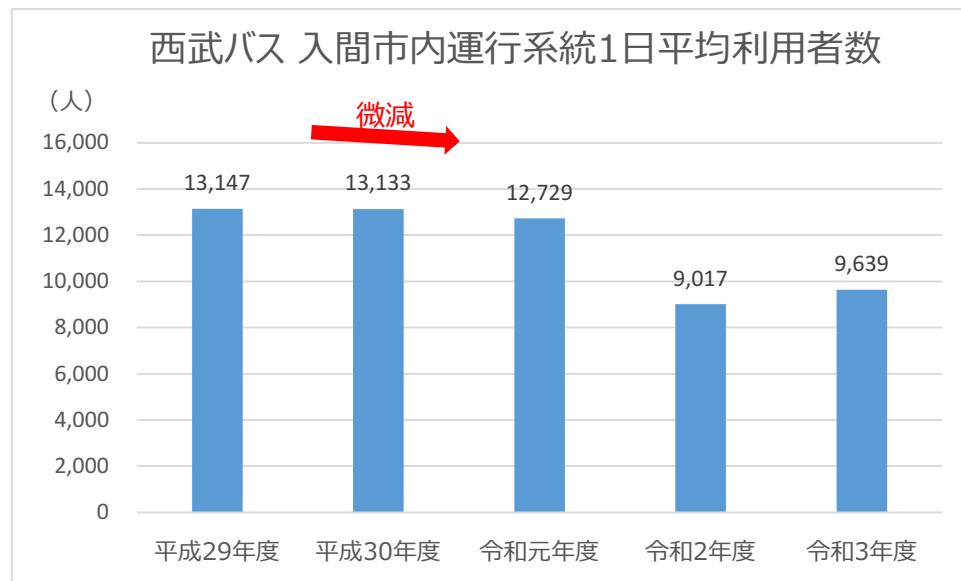
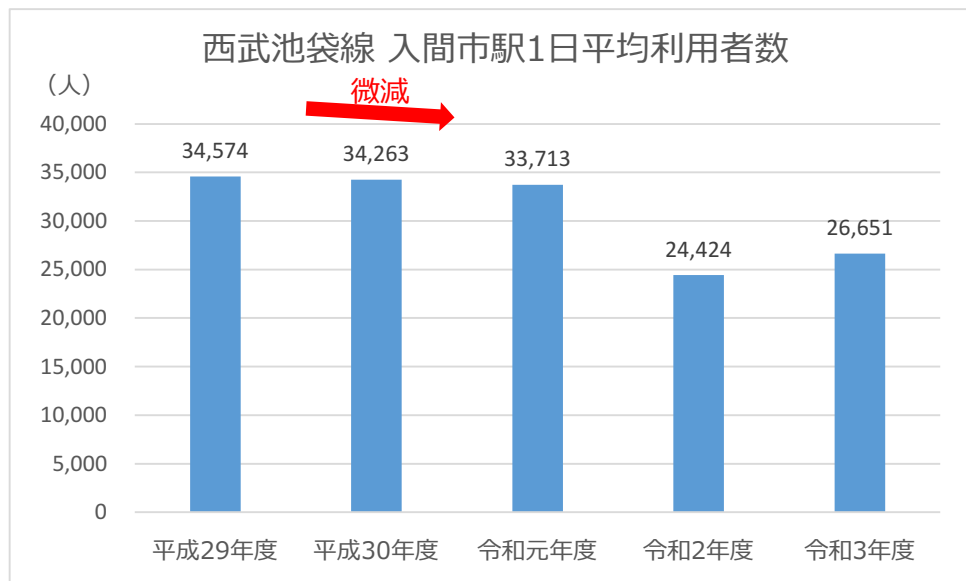
交通空白地域は存在しているが、人口の約9割をカバーしている。





現状（7）公共交通の利用者数

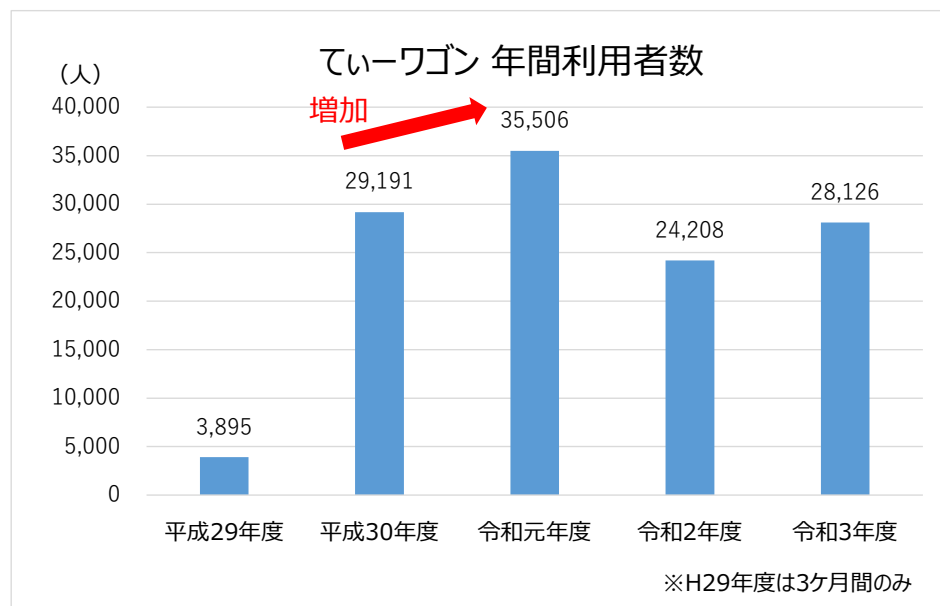
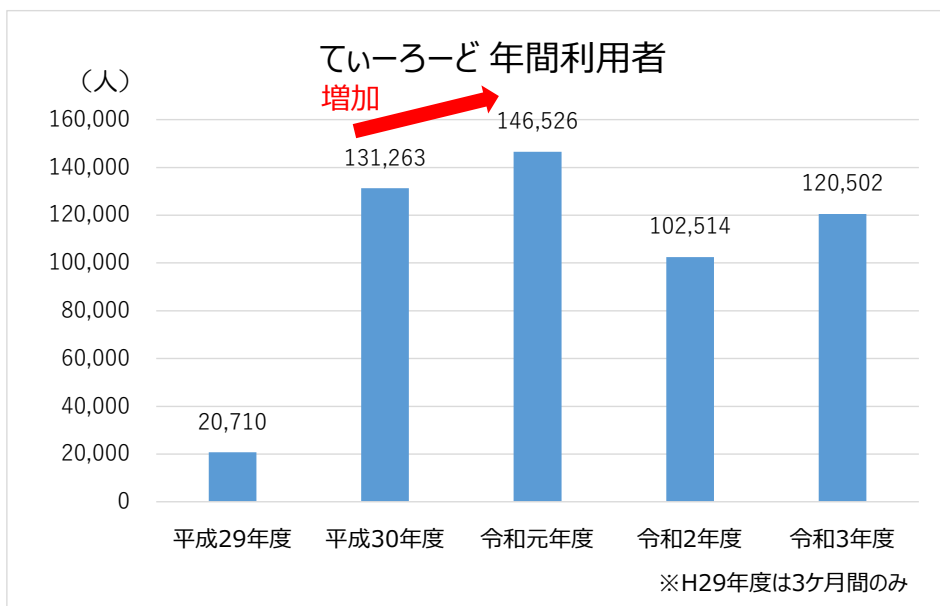
鉄道、路線バスの利用者数は、微減傾向にあるが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少した。令和3年度は回復傾向にある。





現状（7）公共交通の利用者数

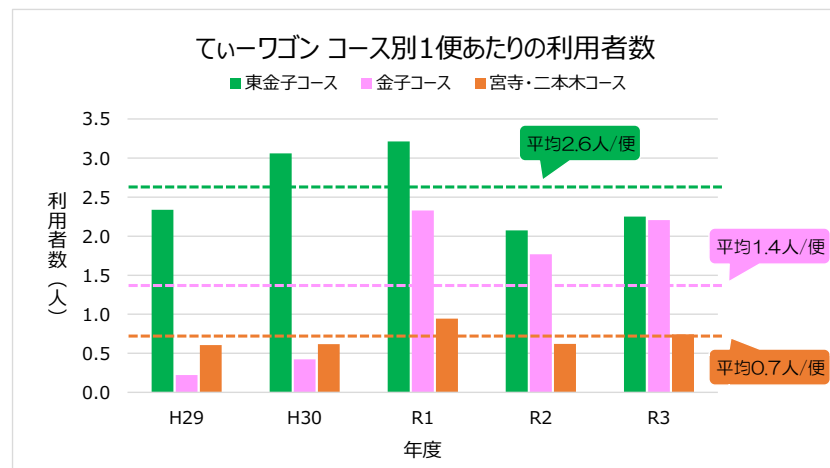
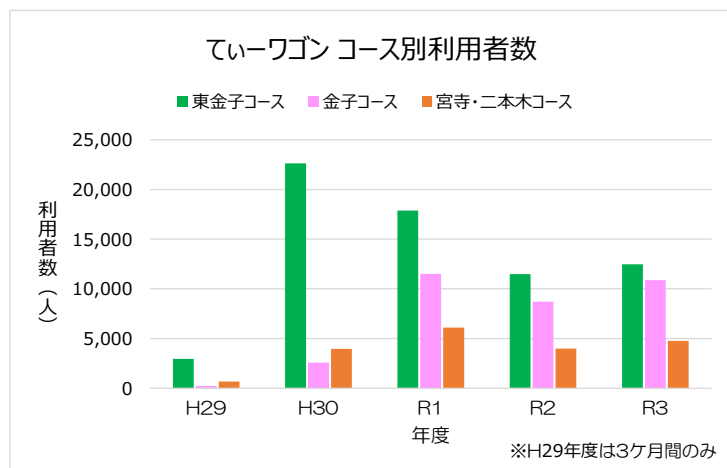
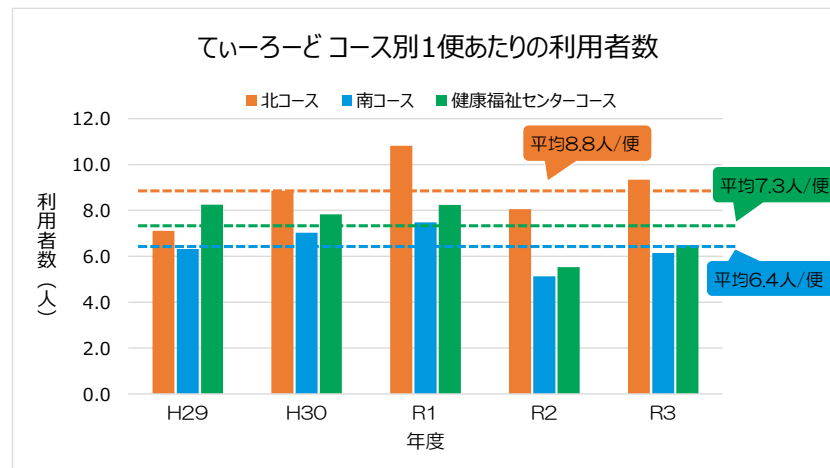
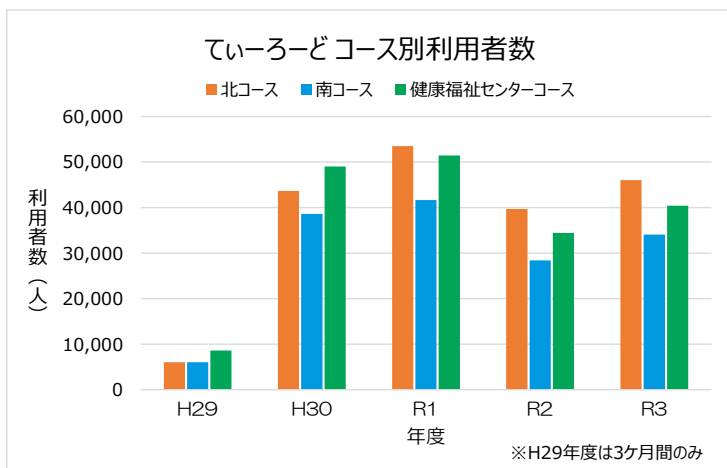
ていーろーど、ていーワゴンは、平成30年1月の再編後、順調に利用者数を伸ばしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度に大きく減少した。令和3年度は回復傾向にある。





現状（7）公共交通の利用者数

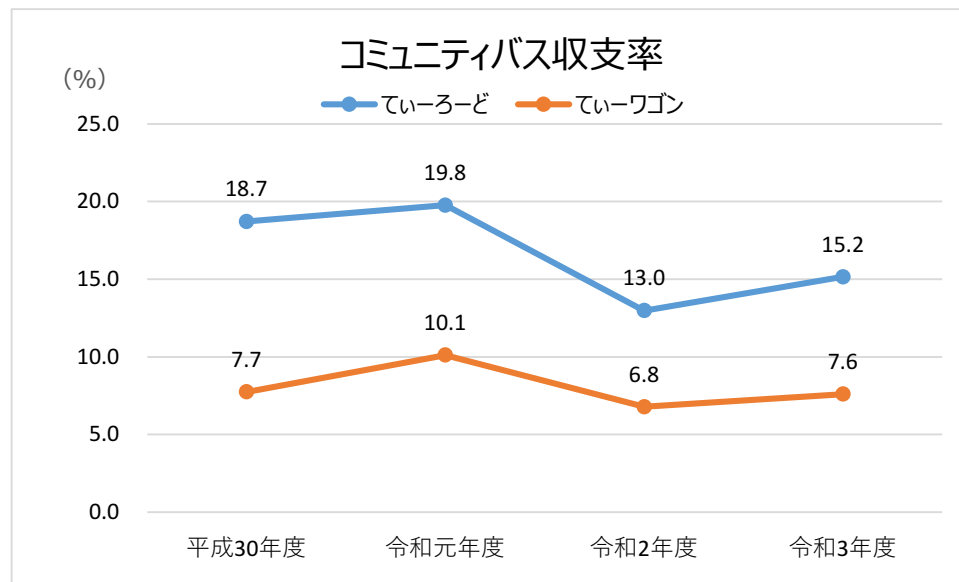
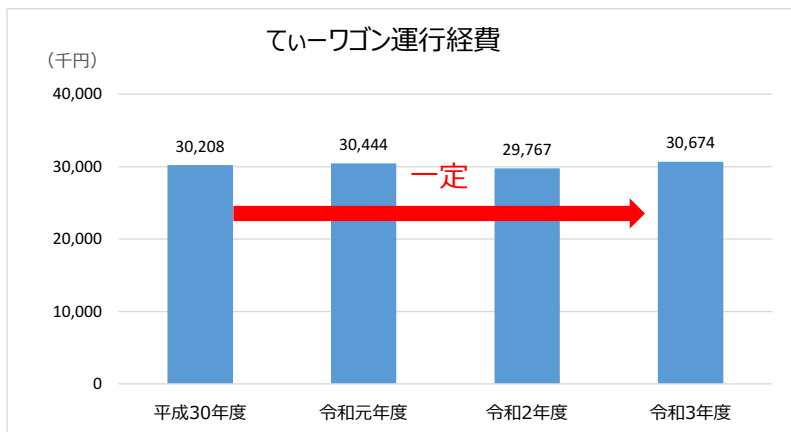
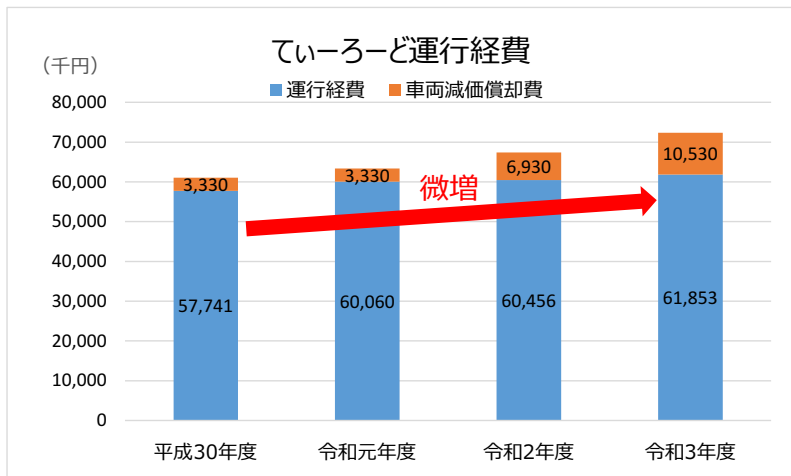
ていーろーど、ていーワゴンともに、コースによって利用状況に偏りはあるものの、一定の利用はある状況。ただし、ていーワゴンの宮寺・二本木コースについては、1便あたりの利用者が1人を切っている。





現状（8）運行経費、収支率

運行経費は微増傾向（人件費や燃料費等の増加）にあるが、利用者数の減少により、収支率は下がっている。（令和3年度はやや回復）



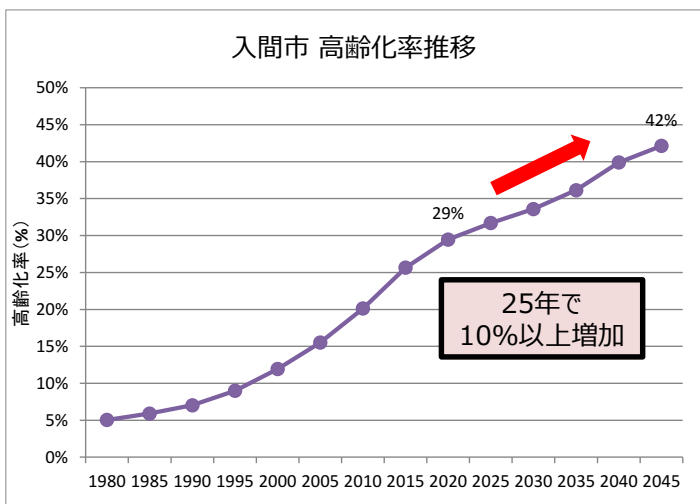
※収支率 = 収入 / 運行経費 × 100



公共交通における課題（1）

高齢者の増加による公共交通の需要増加への対応

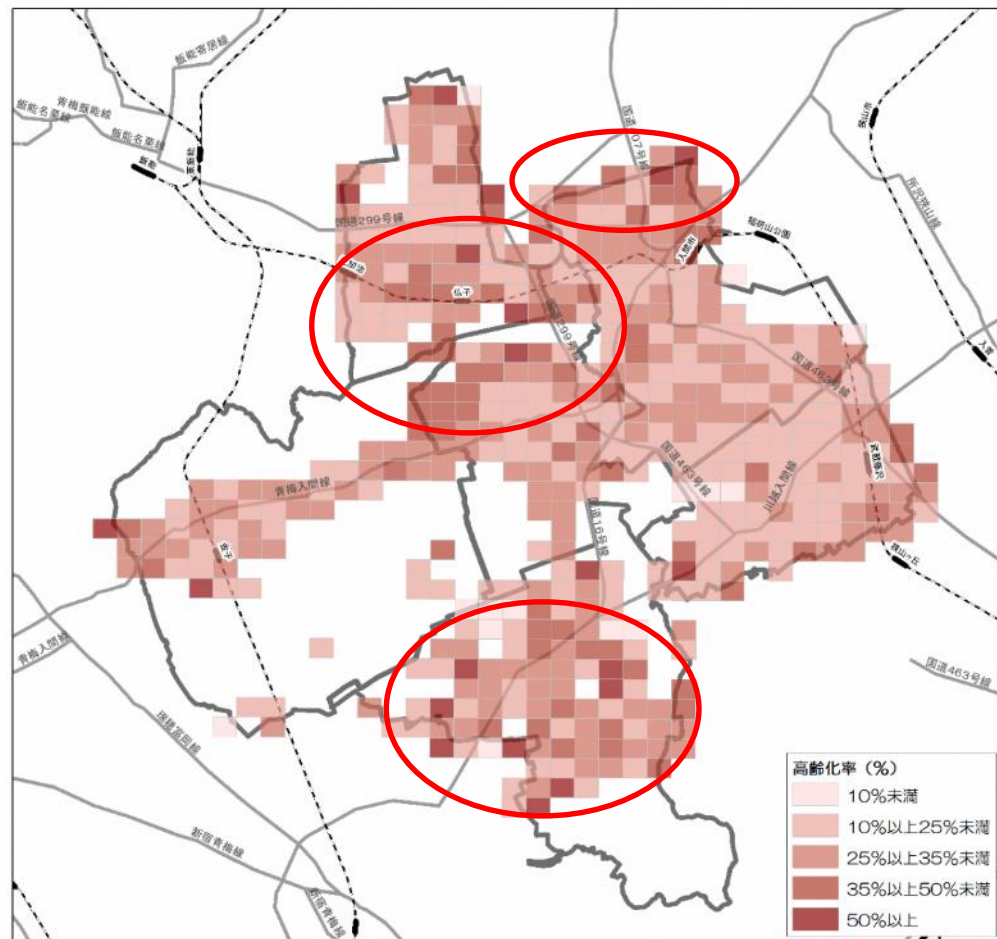
免許返納した高齢者の移動手段の確保



免許を返納した
高齢者が
増加傾向



高齢化率が高い地域への対応



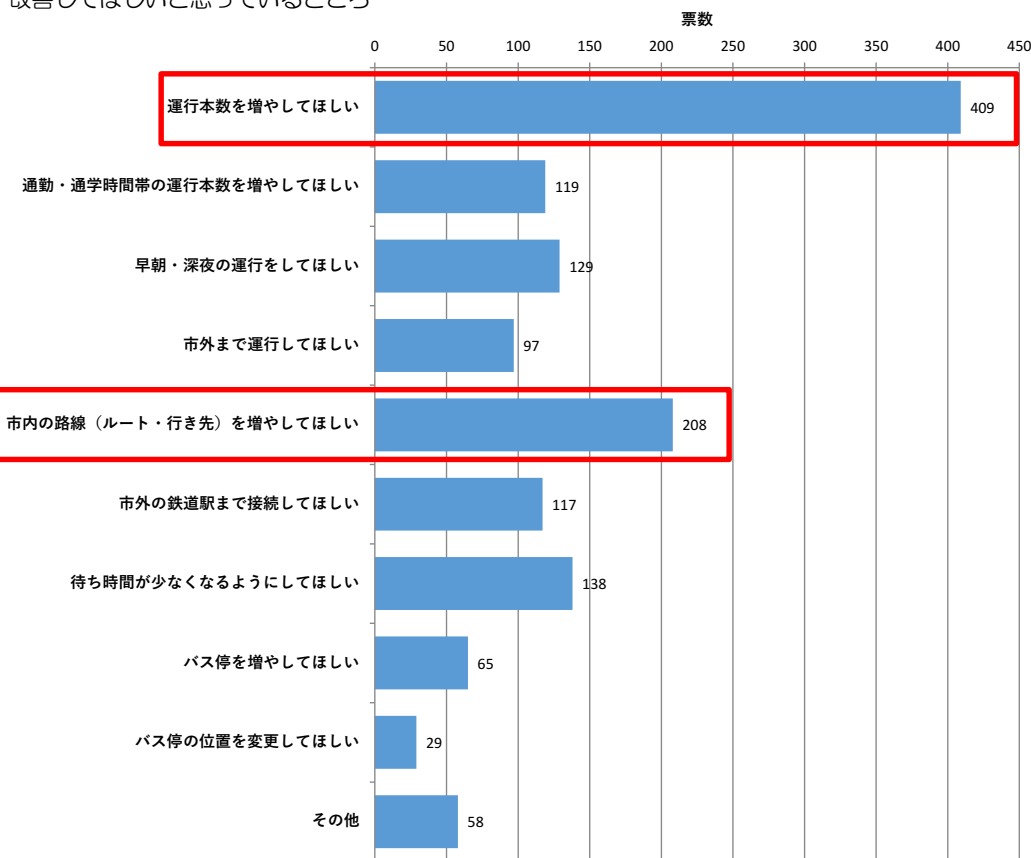


公共交通における課題（2）

利用者のニーズに応じた公共交通サービスの提供

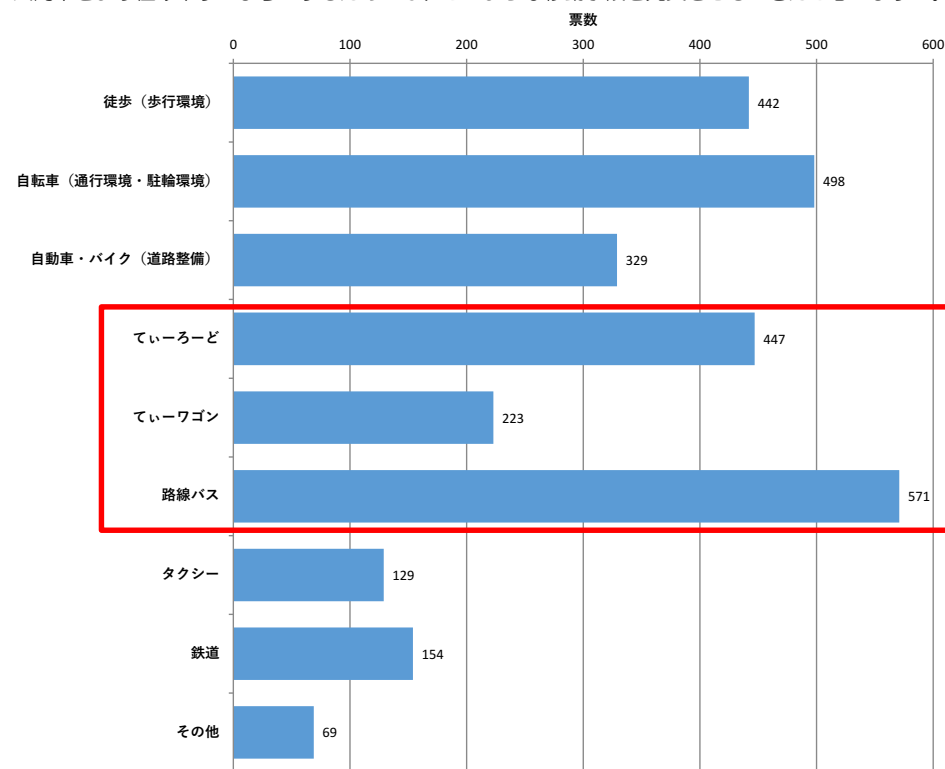
運行本数の増便や新規ルート増設の要望が多い

改善してほしいと思っているところ



[回答数：1369（複数回答あり）]

入間市をより住みやすいまちにするためには、どのような移動手段を充実させるべきだと思いますか。



[回答数：2862（複数回答あり）]

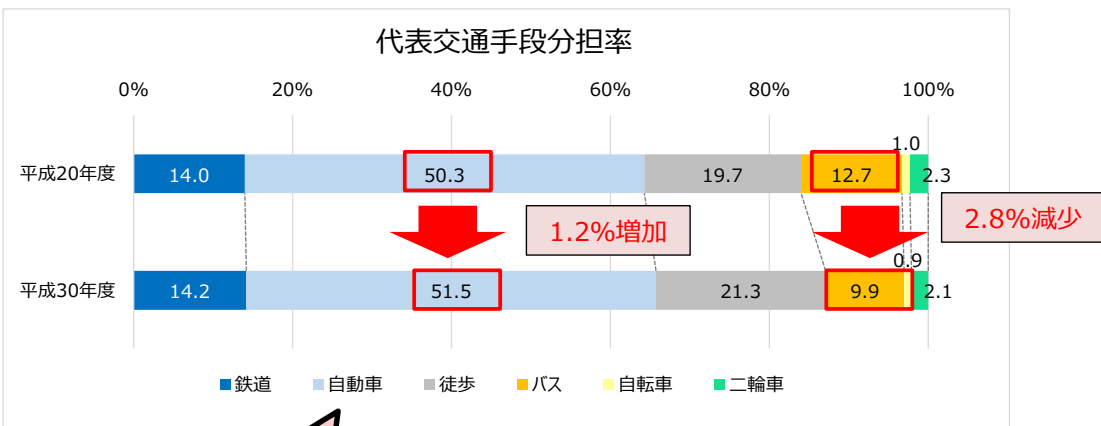


公共交通における課題（3）

自動車依存と公共交通離れ

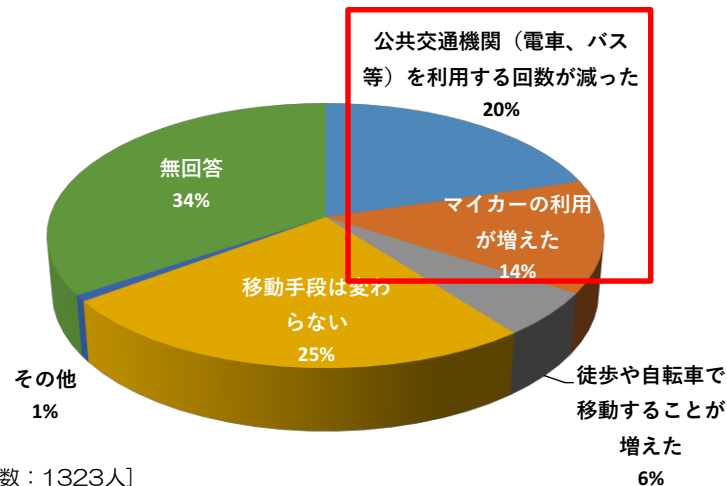
公共交通を維持していくための自家用車からの転換

代表交通手段分担率



市民の5割が車移動

コロナ前の移動手段とコロナ禍での移動手段に変化はありましたか。



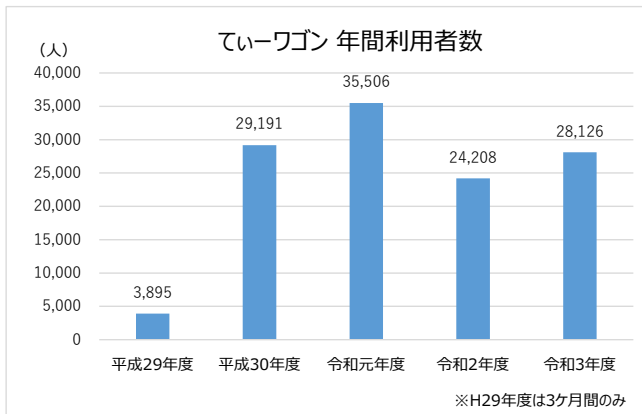
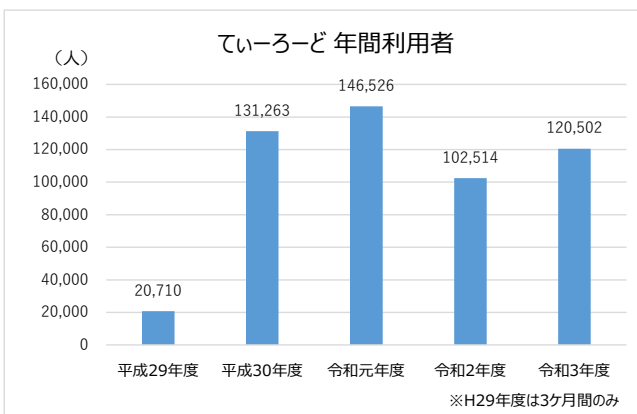
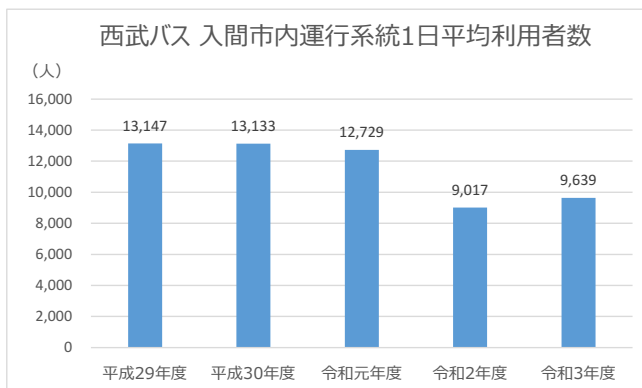
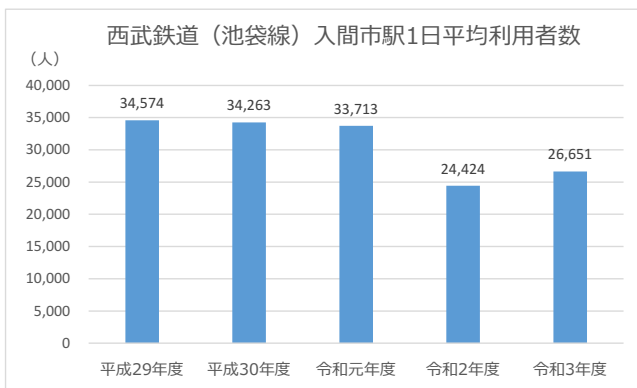


公共交通における課題（4）

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う利用者減少

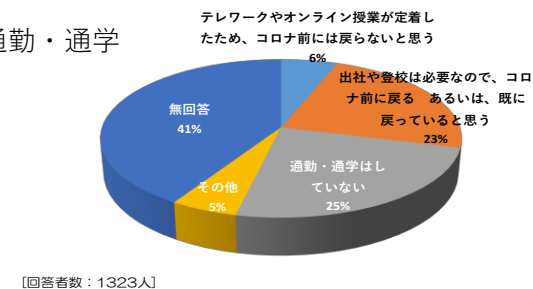
利用者が減少する中で、公共交通の維持・存続が求められる

公共交通利用者数

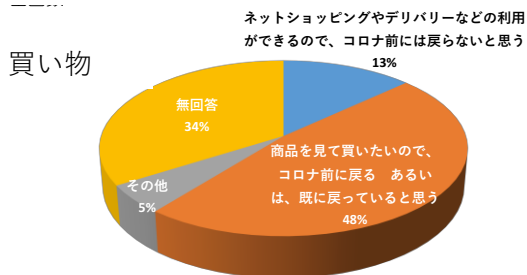


コロナ終息後の外出回数

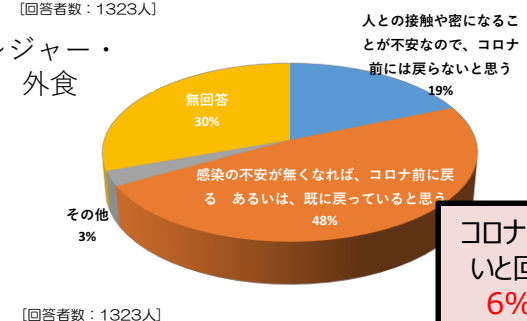
通勤・通学



買い物



レジャー・外食



コロナ前に戻らないと回答した方
6%～19%

全体的に回復傾向だが、**コロナ前の利用者数に戻る**の見通しが立っていない

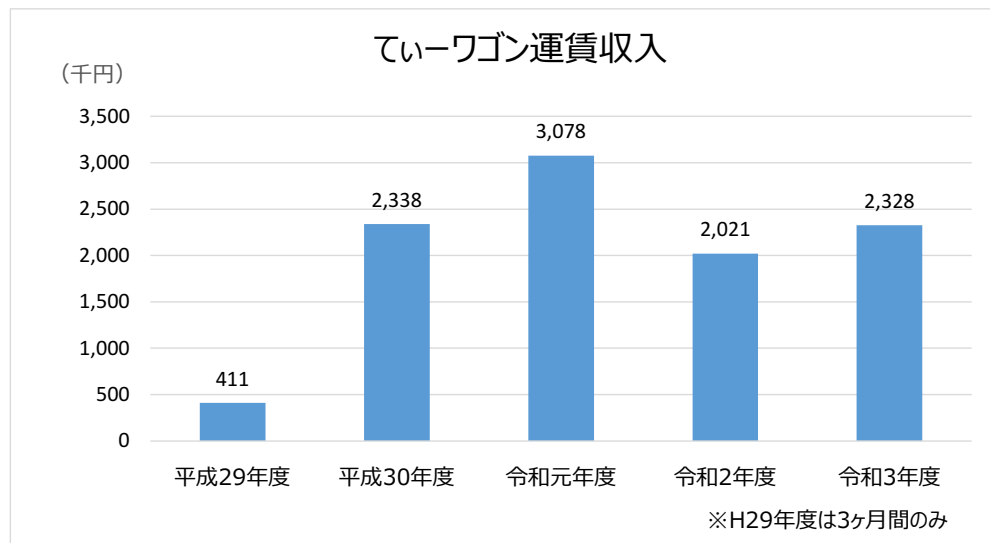
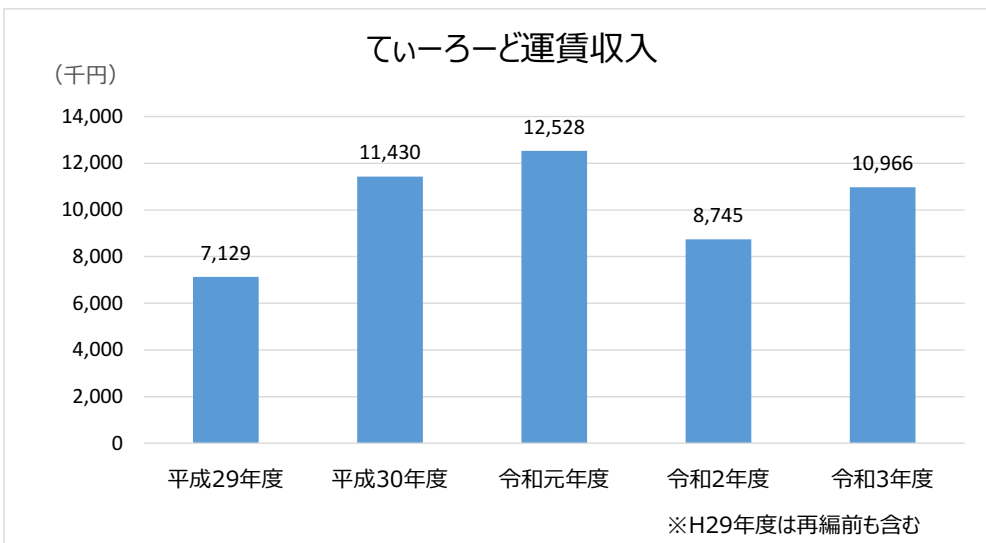


公共交通における課題（5）

コミュニティバスの収入の確保

公共交通の維持・存続のための、財源の確保が必要

コミュニティバスの運賃収入



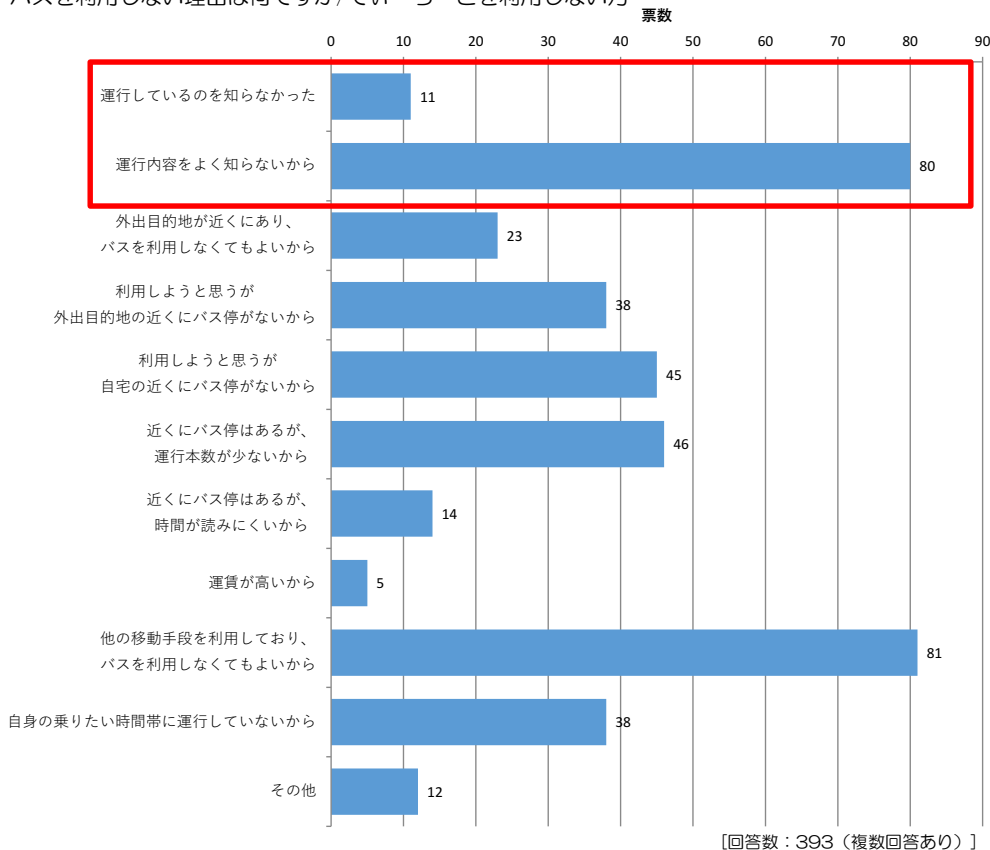


公共交通における課題（6）

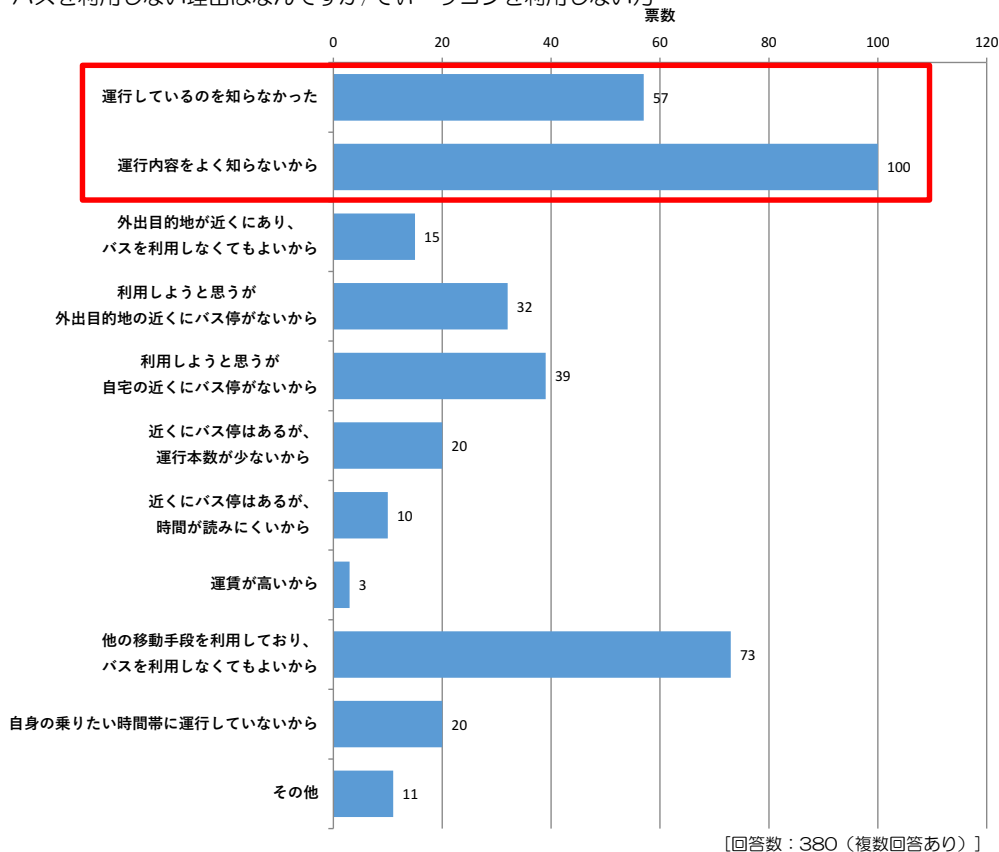
コミュニティバスの周知不足

利用促進に向けたサービス内容の周知・情報提供が必要

バスを利用しない理由は何ですか/ていーろどを利用しない方



バスを利用しない理由は何ですか/ていーワゴンを利用しない方



ていーろど運行開始から23年、ていーワゴン運行開始から5年が経過するが、認知度は低い